「直前まで、歩行者に気付かなかった」

”車道を歩いていた”　男性はねられ死亡、車運転の男逮捕

2015年7月19日(日)12時14分

１８日**午後8時**すぎ、栃木県の市道で、近くに住む男性(77)が**車道**を歩いていたところ、乗用車にはねられ、病院に運ばれましたが、死亡が確認されました。警察は、乗用車を運転していた会社員の男性容疑者(40)を過失運転致傷の疑いで現行犯逮捕しました。取り調べに対し、容疑者は**「直前まで歩行者に気付かなかった」**と供述しているということです。

追突事故の多くが
低速追従時の**安心感**と**油断**からくる
車間不足と**注意力不足**

●過去3年間　トラック事故の特徴
○車両同士の事故　⇒　全事故の90％
○三大多発事故　⇒　①追突②交差点出合い頭③交差点右左折時･･･全事故の75％
○追突事故　⇒　全事故の50％

自分は、事故を起こすはずがない？　事故に遭うはずがない？

バック時は　**降りて**確認　**乗って**も確認

交差点手前で止まる時は**車1台分のスペース**を空けて止まる

交差点　「右左確認／よ～し！」

信号のない交差点、”一時停止”を怠った

ワゴン車とミニバイクが出合い頭に衝突、ミニバイクの男性死亡

[2015/7/19 18:26]

１９日午前１０時１５分ごろ、静岡県の**信号のない交差点**でワゴン車とミニバイクが**出合い頭に衝突**し、ミニバイクに乗っていた無職の男性(58)が死亡した。容疑者が**一時停止を怠った**とみて調べている

信号のない場所を横断中、小学生はねられ死亡

2015年7月16日(木)12時48分

１５日午後６時５分ごろ、京都府の国道で、小学６年男児(12)が、男性会社員(19)の乗用車にはねられ死亡した。警察によると、男児は信号のない場所で国道を横断中だった。近くの神社で行われていた祭りに友人たちと来ていたといい、同署が事故の原因を調べている。

”脇見運転”　白糠茶路の国道392号　はみ出し

観光バスと正面衝突、乗客6人けが

2015/07/19 15:34

【白糠】１９日午前９時２５分ごろ、釧路管内白糠町茶路の国道392号で、観光バスと乗用車が正面衝突した。バスの乗客４人と乗用車の男性２人の計６人が病院に搬送されたが、いずれも軽傷という。釧路署などによると、観光バスには台湾などからの観光客が乗っていた。観光バスは釧路市内から十勝の観光施設に行く途中で、道東自動車道の白糠インターチェンジに向かっていた。乗用車がセンターラインを越えて衝突したとみている。警察は脇見運転が原因とみて調べている。

はみ出し、バスと正面衝突　軽乗用車の75歳女性死亡

2015年7月19日(日)11時12分

18日午後0時20分ごろ、福島県の国道で、農業の女性(75)の軽乗用車と路線バスが衝突した。女性は全身を強く打ち死亡。バスを運転していた男性(55)は腕に軽傷、乗客1人にけがはなかった。警察によると、現場は片側1車線の**緩やかなカーブ**。軽乗用車が対向車線にはみ出し、正面衝突したとみられる。

「ぶつかる直前、歩行者に気づいたが、間に合わなかった」

国道横断中の女性、はねられ死亡

[2015/7/18 14:59]

１７日午後１０時５分ごろ、三重県の国道で、道路を横断していた36歳の女性が車にはねられ死亡した。車を運転していた女性会社員(45)は**「ぶつかる直前、歩行者に気づいたがブレーキが間に合わなかった」**と話しているという。警察は、事故原因を詳しく調べている。